

西洋ナシ「ラ・フランス」の果肉褐変の少ない収穫時期

福島県農業総合センター果樹研究所栽培科

1 部門名

果樹—その他—収穫

2 担当者

額田光彦・阿部和博・斎藤祐一・湯田美菜子

3 要旨

近年、温暖化等の影響により、「ラ・フランス」の収穫期が前進し、現行の基準と合わない点が認められる。

品質に優れ、果肉褐変障害の見られない収穫適期は満開後160～165日頃で、果実品質は、デンプン指数が3.0～3.5程度、地色指数が3.0程度、硬度が11lbs.程度である。

(1) 近年「ラ・フランス」の収穫適期は、現行基準(表1)より早い傾向にあり、収穫時期の違いが追熟前後の果実品質におよぼす影響を2008年より7年間調査した。

(2) 追熟後の果肉褐変障害発生の見られない収穫期は満開後165日以前であった(図1)。また、追熟後の果実の食味評価では、満開後160～165日に収穫した果実の評価が高かった(図2)。

(3) 果肉褐変が少なく食味良好な収穫の目安は、硬度が11 lbs.程度(図3)、地色指数が3.0程度(図4)、デンプン指数が3.0～3.5程度(図5)と判断された。

表1 「ラ・フランス」収穫適期の基準

	生育日数 (日)	地色 指数	硬度 (lbs.)	デンプン 指数
新たな収穫の目安	160～165	3.0	11	3.0～3.5
現行基準	165～175	2.5～3.0	11～12	1.5～2.0

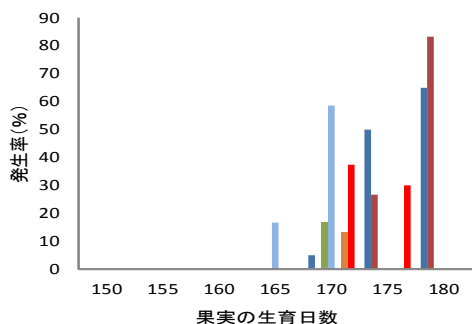


図1 追熟後の果肉褐変発生率

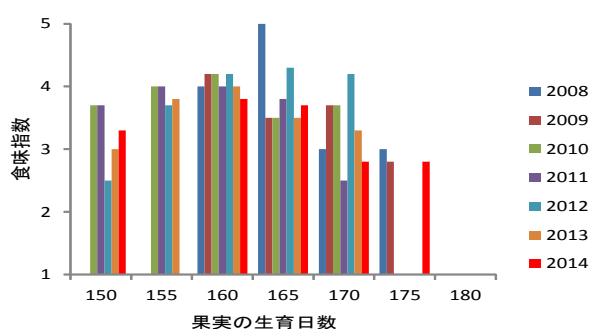


図2 食味調査(1～5の5段階評価)

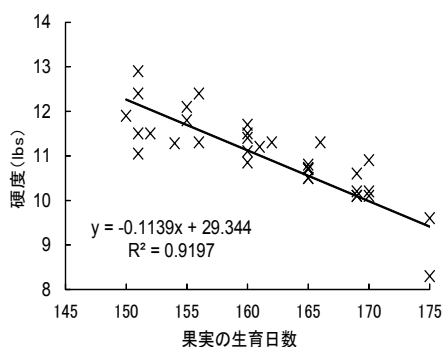


図3 成熟期の果肉硬度の推移

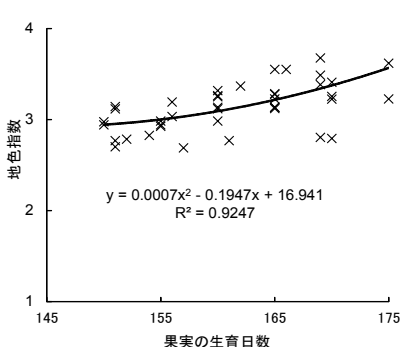


図4 成熟期の地色の推移

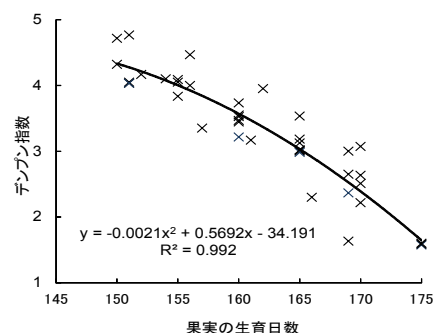


図5 成熟期のデンプン指数の推移

4 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成23年度～26年度

(2) 研究課題名 本県オリジナル品種・新品種・一般品種の生育及び栽培特性調査
(「ラ・フランス」の収穫適期と追熟条件の検討)

(3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

(1) 平成22年度参考となる成果 西洋ナシ「ラ・フランス」の収穫適期と追熟条件